

第2次十日町市歯科保健計画の取組状況

※対象世代は、下記の区分となっています。  
 ①乳幼児期(0～6歳) ②少年期(小・中学生) ③青年期(16～24歳) ④壮・中年期(25～64歳) ⑤高齢期(65歳以上) ⑥全世代

ライフステージ	目標(指標)現状値→目標値	市の取り組み	実施機関	事業名	事業内容	対象世代	H29年度実績	H30年度実績及び見込数	H31年度取組予定及び見込数	備考
妊婦(胎児)	○自分と赤ちゃんの歯に関心がもてる。 ○適切な歯のケアが実践できる。  妊婦歯科健診受診者の割合 10.8%→20% 歯周病を有する人の割合 87.8%→65%	○妊娠届やハロー・パパママ学級の機会を利用し、歯科健診や歯のケアの大切さを啓発します。 ○妊婦歯科健診の機会について啓発し、受診を勧めます。 ○かかりつけ歯科医をもち、歯科健診を受けることを啓発します。	健康づくり推進課	妊婦歯科健診	ハロー・パパママ学級等で、希望した妊婦を対象に歯科健診を実施。	③④	34人	1人	0人	
乳幼児	○親子で歯みがきを習慣化できる。 ○親子でむし歯にならない生活習慣を理解し、実践できる。  5歳児一人平均むし歯数 2.21本→2.0本 3歳児でむし歯のない者の割合 78.4%→85.0% 1歳6か月児歯の清掃不良の割合 18.5%→18.0%	○乳幼児健康診査やブラッシング相談等で、むし歯予防の大切さ、仕上げ磨きの方法、歯や口による生活習慣(食事・嘔むことなど)について啓発します。  ○幼児歯科健診や、保育園・認定こども園での歯科健診を継続します。  ○保育園や認定こども園と連携し、歯磨きやフッ化物洗口を推進します。  ○親と子のよい歯のコンクール(県事業)に参加し、親子でむし歯予防について啓発します。	健康づくり推進課	幼児歯科健診	幼児健診受診者に対し歯科健診を実施。(1歳6か月児、2歳6か月児、3歳6か月児で実施)	①	36回 1,024人	36回 980人	36回 924人	
			健康づくり推進課	ブラッシング指導	歯の講話、磨き方指導、保護者へ「健康とおかまち21」を啓(10か月児身体測定、2歳6か月児身体測定で実施)	①	24回 620人	24回 640人	24回 560人	
			健康づくり推進課	ブラッシング教室	歯の健康教育、磨き方指導、個別相談	①	8回 67人	8回 72人	9回 80人	
			健康づくり推進課	フッ化物歯面塗布	1歳6か月児健診受診者のうち、希望者にフッ化物歯面塗布を実施。	①	12回 341人	12回 280人	12回 270人	
			健康づくり推進課	フッ化物洗口	保育園と連携しフッ化物洗口を実施。	①	13園 355人	13園 351人	12園 334人	
			健康づくり推進課	親と子のよい歯のコンクール	むし歯のない親子の健診結果から1組を県コンクールに推薦	①	対象者9組	対象者12組	対象者7組	
			子育て支援課	保育園児童歯科健診	むし歯の早期発見・早期治療	①	20回 1,349人	16回 831人	14回 720人	
			子育て支援課	保育園講演会・給食試食会	乳幼児期のバランスの取れた食事内容と望ましい食生活やおやつ、食後の歯磨きの励行について知識啓発。	③④	371人	183人	220人	
			生涯学習課	すこやかランド	乳幼児の歯の発達とケ脳について	①③④	1回 6人	1回 6人	1回 20人	
児童・生徒	○適切な歯のケア方法を理解する。 ○歯周病予防の必要性を理解する。  12歳児一人平均むし歯数 0.33本→0.25本 歯肉の状態が要観察・要精密検査と判定された小学生・中学生の割合 小学生 6.05%→4.0%、中学生 10.73%→9.0% 受診勧奨により、歯科医院を受診した小学生・中学生の割合 むし歯によるもの 小学生 43.6%→55.0%、中学生 29.7%→45.0% 歯肉炎によるもの 小学生 36.2%→45.0%、中学生 26.8%→40.0%	○むし歯・歯周病予防の大切さや歯による生活習慣について啓発します。  ○学校と連携し、適切な歯のケア方法の指導やフッ化物洗口を推進します。	健康づくり推進課	フッ化物洗口	学校と連携しフッ化物洗口を実施。	②	20校 2,564人	20校 2,526人	20校 2,482人	
			教育委員会	中学校生徒歯科保健教育	デンタルフロスを用いた磨き方の指導、食生活や生活習慣病などの関連分野と一体的に行う歯科保健教育	②	中学校 10校	中学校10校	中学校10校	
			教育委員会	小学校児童歯科健診	むし歯の早期発見・早期治療	②	2,513人	2,424人	2,367人	
			教育委員会	中学校生徒歯科健診	むし歯の早期発見・早期治療	②	1,248人	1,247人	1,268人	
成人	○定期的に歯科健診を受ける。 ○適切な歯のケアが実践できる。  60歳で24本以上の自分の歯を有する人の割合 42.2%→60% かかりつけ歯科医を持つ人の割合 69.7%→75% 1年に1回以上歯科健診を受ける人の割合 34.6%→40% 歯間部清掃用具を使用する人の割合 46.6%→48% 歯周病が全身の健康に影響することを知っている人の割合 66.4%→75% 歯周病検診の受診率 12.1%→15%	○むし歯や歯周病の予防、口の健康に関連する食生活や生活習慣病について啓発します。 ・広報、ホームページや健(検)診、健康教育時の啓発 ・ヘルスマイトと連携した地域での啓発 ○かかりつけ歯科医をもち、年に1回は歯科健診を受けることを推進します。  ○乳幼児健診での親子歯科健診やハロー・パパママ学級等を通じ、歯科健診が受けられる機会を設けます。  ○乳幼児健康診査やブラッシング教室、保育園や認定こども園、学校を通じ、保護者に正しい歯みがき習慣や歯間部清掃用具を活用する大切さを啓発します。  ○歯周病検診について積極的に啓発し、受診を勧めます。	健康づくり推進課	ヘルスマイト活動	地区伝達講習会等で口に関わる啓発活動	④⑤	4回 42人	5回 50人	5回 50人	
			健康づくり推進課	成人歯科健診	2歳6か月児身体測定の保護者を対象に歯科健診を実施。	③④	12回 297人	12回 324人	12回 270人	
			健康づくり推進課	歯周病検診	40・50・60・70歳を対象に歯周病検診を実施。	④⑤	412人	366人	440人	
高齢者	○定期的に歯科健診を受ける。 ○適切な口腔のケアをする。  70歳で20本以上の自分の歯がある人の割合 49.7%→55% 80歳で20本以上の自分の歯がある人の割合 32.5%→35%	○かかりつけ歯科医をもち、1年に1回は歯科健診を受けることを啓発します。 ○広報、ホームページ、健(検)診等の機会を利用し、適切な歯と口腔ケアについて啓発します。 ○ヘルスマイトと連携し、適切な歯と口腔のケア方法・食生活や生活習慣病と関連した歯の健康づくりについて啓発します。 ○地域の茶の間事業や運動教室等で、歯科衛生士が口と全身の健康との関係や口腔ケアについて知識を普及します。 ○いきいき人生よい歯のコンクール(県事業)へ参加するとともに、8020運動の啓発を行っています。	医療介護課	口腔ケア講演会	歯科医師による講演会の実施	⑤	0回 0人	1回 33人	1回 30人	
			医療介護課	介護予防普及啓発事業(口腔ケア)	お口と全身の健康との関係や口腔ケアの大切さについての知識を普及	⑤	63回 638人	60回 600人	60回 600人	
			健康づくり推進課	いきいき人生よい歯のコンクール	公募した対象者から推薦者を選出し、県コンクールに推薦	⑤	対象者2名	対象者6名	対象者5名	
			生涯学習課	高齢者健康講話	口腔ケアについて意識を高め、口内機能の向上を図る	⑤	1回・30人	1回・10人	-	
障がい者・要介護者	○定期的に歯科健診を受ける。 ○必要な支援を受け、口腔のケアをする。  障がい児(者)歯科保健推進事業を希望する施設の割合 66.7%→66.7%	○関係者に対し、口腔機能向上の必要性、具体的な実践等の啓発を行います。 ○広報、ホームページ、健(検)診等の機会を利用し、誤嚥性肺炎の予防など口腔ケア(口腔清掃・口腔機能向上)の必要性や大切さについて啓発します。 ○障がい者や要介護者が歯科健診を受けやすい体制づくりをします。 ○フッ化物洗口が難しい障がい児がフッ化物歯面塗布を受ける機会を提供します。 ○在宅要介護者等歯科保健推進事業(県事業)について、介護保険事業者等に情報提供します。	健康づくり推進課	ブラッシング指導	歯の磨き方や食生活などの指導	③④⑤	1回 28人	0回 0人	1回 30人	
			健康づくり推進課	障がい者歯科健診	むし歯の早期発見・早期治療、障がい者の口腔衛生の向上を目指す。及び施設職員の歯科保健意識の向上を目指す。	③④⑤	1回 142人	1回 146人	1回 150人	
			健康づくり推進課	フッ化物歯面塗布	ふれあいの丘支援学校に通う児童・生徒のうち、希望者にフッ化物歯面塗布を実施。	②	3回 81人	3回 104人	3回 105人	
			医療介護課	口腔機能向上事業者研修会	歯科医師による講義。高齢者の口腔機能向上に関する基礎知識や方法を学ぶ。	⑤	0回	1回	1回	